

1 教育課程実施上の課題と指導上の留意事項（新学習指導要領の円滑で着実な実施のため）

(1) 新学習指導要領の趣旨を改めて確認し、その実現に努めること

- ① 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことを目指す。
- ② 「確かな学力」として、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決させるために必要な思考力・判断力・表現力等を育む。
- ③ 主体的に学習に取り組む態度を養うことを重視する。

(2) 指導法や指導体制を工夫改善し、個に応じた指導の充実を図ること

- ① 指導計画の作成に当たっては、各教科等の目標と指導事項の関連、指導すべき事項の種類や系統性を捉え、新学習指導要領のねらいに即した効果的な指導を工夫する。
- ② 学校全体で個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、学習内容の習熟の程度に応じた指導、児童・生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの学習活動を取り入れた指導、教師間の協同による指導など指導方法や指導体制を工夫改善する。

(3) 言語活動を充実する趣旨を確認し、各教科等の目標と関連付けた効果的な指導を行うこと

- ① 言語活動は、論理や思考などの知的活動やコミュニケーション、感性・情緒の基盤となるものであり、子どもたちの思考力・判断力・表現力等を育むための有効な手段である。
- ② 言語活動を適切に位置付けた授業の構成や指導の在り方を工夫改善するよう努める。
 - ・ 言語活動そのものが目的化していないか。
 - ・ 他教科等において、国語科でねらう言語活動が行われていないか。各教科等のねらいを実現するための言語活動になっているか。

(4) 道徳教育について、道徳の時間を要として、各教科等の特質に応じ、あらゆる教育活動を通じた適切な指導を行うこと

- ① 魅力的な教材の開発や活用、道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実を図る。
- ② 道徳の時間の授業公開を行うなど、家庭・地域社会との共通理解・相互連携を図る。

(5) 新学習指導要領に対応した授業研究・研修を充実すること

(6) 学校全体として指導に関するPDCAサイクルを確立すること

新学習指導要領を踏まえた教育目標や指導計画に基づく適切な指導と、その教育効果の適切な評価による指導の改善・充実を図る。

(7) 保護者や地域の方々に、新学習指導要領の理念や内容を周知するとともに、学校・家庭・地域の連携・協同を推進すること（地域とともにある学校づくり）

※ 参考資料 「中学校等の新学習指導要領の全面実施に当たって」（文部科学大臣からのメッセージ）について（通知） 24文科初第16号 平成24年4月6日付

2 全国学力・学習状況調査について

4年間の調査結果から今後の取組が期待される内容のまとめを作成（国立教育政策研究所）

※ 参考資料 「授業アイデア例」 <http://www.nier.go.jp/11chousa/>

「全国学力・学習状況調査において特徴ある結果を示した学校における取組事例集」
<http://www.nier.go.jp/10zireishuu/index.htm>

3 その他

(1) 小中一貫教育や中高一貫教育、幼小連携の推進（六三三制の柔軟化）について

今後、「新しい教科の創設」や「学習内容の学校・学年内での入れ替え」等の特例措置について、設置者の判断で行えるよう制度改正される予定である。（25年度からの予定）

(2) 「小学校及び中学校学習指導要領実施状況調査」の実施について（国立教育政策研究所）

① 調査の目的

小学校及び中学校学習指導要領の改訂に資するため、学習指導要領に基づく各教科の目標や内容に照らした児童・生徒の学習の実現状況について、調査研究を行う。

② 調査の名称

学習指導要領実施状況調査

③ 調査対象教科及び内容等

・ 調査を行う教科

小学校：国語，社会，算数，理科，音楽，図画工作，家庭，体育

中学校：国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術・家庭，外国語

・ 調査予定時期

小学校：平成 25 年 2 月（体育は平成 25 年度）

中学校：平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月

・ 調査対象学年

小学校 国語：4,6 年 社会 算数 理科：4,5,6 年 音楽 図工 家庭 体育：6 年

中学校 国語 社会 数学 理科 外国語：1,2,3 年 音楽 美術 保健体育（保健分野）

技術・家庭：3 年 保健体育（体育分野）：2 年

④ 調査の形式

- ・ 1 コマ当たり小学校 45 分，中学校 50 分の質問紙による調査
- ・ 小学校，中学校，それぞれ各教科 3,000 人程度，学校数 800 校程度
- ・ 調査問題は基本的に非公開，個々の学校の調査結果は非公開

(3) 「東日本大震災からの復興—教育現場を通じて—」の Web サイト開設について

「復興教育支援事業」を実施する団体の活動状況について広く共有するとともに，全国の学校から寄せられた「被災地復興に係る児童生徒の活動事例」等を掲載

Web サイト URL <http://fukkokoiku.mext.go.jp>

4 質疑応答

Q 1： クラブ活動の年間時数は少なくとも何時間と押さえればいいのか。

A 1： クラブ活動の目標，指導内容が達成できる時間となるので，10 時間で果たしてそれが可能かどうかは疑問である。

Q 2： 土曜授業等，指導時数に関する方針の変更等はないか。

A 2： 方針の変更はない。新学習指導要領は，週五日制を基本に作られたものである。土曜授業に関しても，指導時数の確保についても，週五日制の下での工夫を行ってほしい。